

人口減少・少子高齢化が急速に進行している日本において、有限の資源・財産を分かち合い、既存のストックを有効に活用して、いかにして質的に豊かな生命と暮らしを創造していくのかという問題を、建築の原点としての”住まい”という切り口から、改めて問い直す機会を設けたいと考えます。

大量生産・大量消費の時代の後に、「再」を意味する「RE(リ)」が一世を風靡しましたが、現在は「協働」を表す「CO(コ)」の時代とされています。持続可能な未来社会を実現していくためには、事物よ

りも関係が、フローよりもストックが、所有よりも利用が、個人よりも集団が重要になると考え、「シェアリングエコノミーの視点から」というサブタイトルを掲げました。

本シンポジウムでは、多彩な経験、広い視野をお持ちのパネリストをお招きし、皆様との活発なディスカッションを期待しております。参加者が今後の建築活動を通して、ハードのみならずサービスやライフスタイルの提案などを含め「住まいのデザインビジョン」を探求する有意義なシンポジウムにしたいと考えています。

パネリスト



吉原 勝己（吉原住宅 スペースRデザイン） - 大家さんの仕事の観点から -

吉原住宅有限公司/株式会社スペースRデザイン 代表取締役

福岡市中央区の旅館育ち。福岡高校、九州大学理学部生物学科卒業後、旭化成で臨床研究を17年行い、大家業の吉原住宅に後継者入社。2003年、老朽化経営危機の「山王マンション」で、福岡初のリノベーションが経営再生とひとのつながりを生むことを確認し「ビンテージ不動産」の概念を確立。築58年「冷泉荘」では福岡市都市景観賞受賞。福岡市中心に28棟を再生。久留米市では団地再生事業、大牟田市では商店街再生など福岡県下のまちで活動中。



西山 直人（都市再生機構） - ストック再生・活用の観点から -

都市再生機構 西日本支社 大阪エリア経営部 計画推進チームリーダー

1990年～不動産デベロッパーにてニュータウン・マンション・戸建開発、遊休資産の有効活用事業に携わる。2002年都市基盤整備公団（現：UR都市機構）入社。団地の中にBBQガーデン・工房・音楽スタジオの設置を全国で初めて手掛けるなどストックの付加価値の創出、プロモーションを担当。現在は、ストック再生計画を推進するほか、住戸リノベーション・共用空間の改修・DIYの普及などに取り組んでいる。



松岡 聡（近畿大学 松岡聡田村裕希） - 建築の手ごたえを留めるデザインの観点から -

近畿大学教授/松岡聡田村裕希共同主宰

1973年愛知県生まれ。1997年京都大学卒業、2000年東京大学大学院修了、2001年コロンビア大学大学院修了後、UN Studio、MVRDV、SANAAを経て、2005年松岡聡田村裕希を共同設立。主な著書に「Sight and Architecture」、「サイトー建築の配置図集」。2014年日本建築学会教育賞、2015年日本建築設計学会賞、2016年JIA新人賞等受賞。



藤村 龍至（東京藝術大学 RFA） - 郊外住宅地の持続可能性の観点から -

東京藝術大学准教授/RFA 主宰

1976年東京生まれ。2008年東京工業大学大学院博士課程単位取得退学。2005年より藤村龍至建築設計事務所（現RFA）主宰。2010年より東洋大学専任講師。2016年より東京藝術大学准教授。建築設計やその教育、批評に加え、公共施設の老朽化と財政問題を背景とした住民参加型のシティマネジメントや、日本列島の将来像の提言など、広く社会に開かれたプロジェクトも展開している。

photo: Kenshu Shintsubo



馬場 正尊（Open A 東北芸術工科大学） - エリアリノベーションの観点から -

Open A 代表/東北芸術工科大学教授/建築家

1968年佐賀県生まれ。1994年早稲田大学大学院建築学科修了。博報堂で博覧会やショールームの企画などに従事。その後、早稲田大学博士課程に復学。雑誌『A』の編集長を経て、2003年OpenAを設立。建築設計、都市計画、執筆などを行う。同時期に「東京R不動産」を始める。2008年より東北芸術工科大学准教授、2016年より同大学教授。建築の近作として「観月橋団地(2012)」、「道頓堀角座(2013)」、「佐賀県柳町歴史地区再生(2015)」など。近著は『PUBLIC DESIGN 新しい公共空間のつくりかた』（学芸出版,2015）、『エリアリノベーション 変化の構造とローカライズ』（学芸出版,2016）

コーディネーター



高田 光雄（京都大学）

京都大学大学院教授

1951年京都市生まれ。京都大学工学部卒業。同大学院修了。2003年より現職。博士（工学）。一級建築士。地域の歴史や文化を活かした住まい・まちづくり、スケルトン・インフィル方式の住宅ストック再生への適用、シナリオ・アプローチによる住まい・まちづくり計画手法の開発などに取り組む。日本建築学会賞（論文）、同作品選奨、都市住宅学会賞（論文、著作、業績）、日本建築士会連合会賞など受賞。